

なつとくのお話



「切らずに治す放射線治療
～今、トレンドの治療をもっと知ろう～

日時:平成20年7月19日(木)

場所:地域医療研修センター

講師:斎藤泰雄(放射線科)

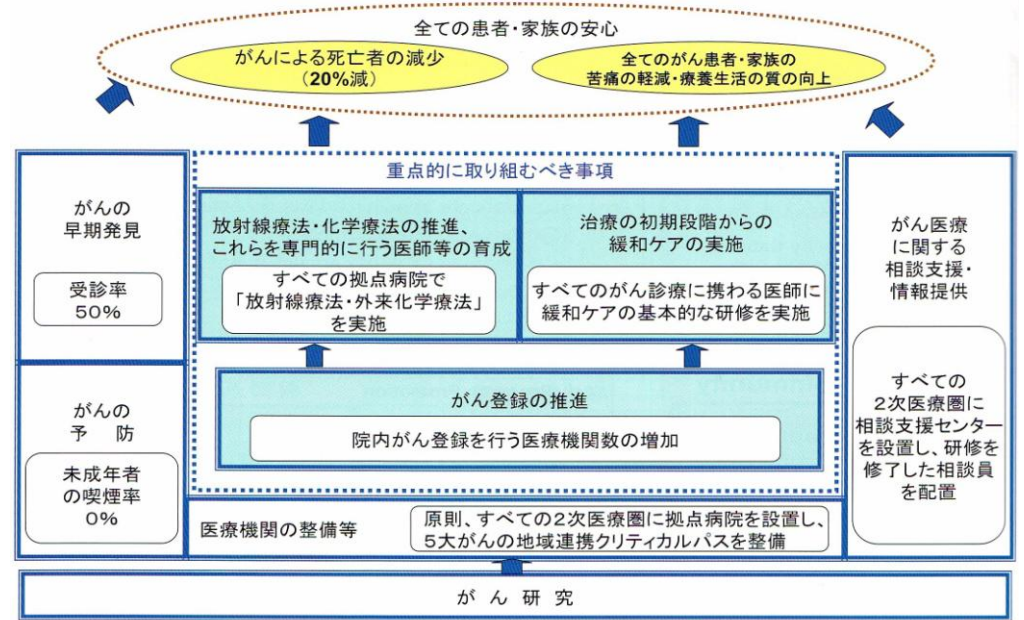
金沢医療センター公開講座

「話題の病気シリーズ」

～ちょっと聞いて見ませんか～



わが国のがん対策推進基本計画



※国のがん対策基本計画によって、わが国でも放射線療法の重要性が認識されつつあります。

欧米では、がん患者の 60%以上が放射線療法を受けています。しかし、わが国では放射線療法というだけで拒否反応を示す方がいます。放射線療法を正當に評価して自分の病気の治療に役立つかもしれないと考えてみてください。

今、放射線療法は目覚ましい進歩を遂げており、安心・安全かつ精度の高い治療法になっています。

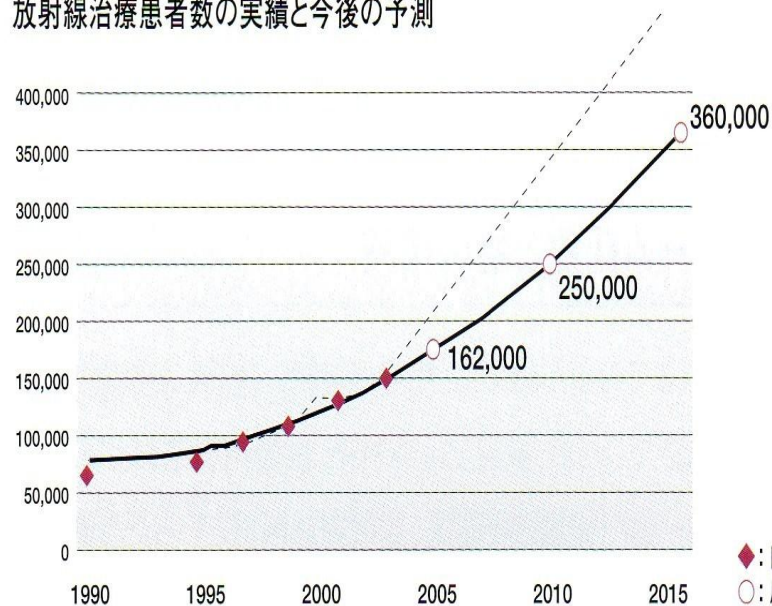
今後、放射線療法を必要とする患者数は激増すると推測されています。(下図)正しい知識の元に正當に評価することが重要です。



知っておきたい放射線治療の基礎

- 放射線治療の影響は、**照射された部位のみに生じます**。影響の内容は部位によって異なります。
- 放射線を照射しても、痛みや熱感などはありません。
- 回数がふえると照射部位に炎症が起こり、粘膜炎などの症状は出ますが、一時的なものです。
- **外部照射では、体から放射線が出ることはありません**。
- 密封小線源治療では体から放射線は出ますが、法律的規制内で管理されていますので、安心してください。
- 通常、週5日(土日、祝日を除く)の分割照射を行います。
- 1回の照射時間は数分です。
- 同じ部位には、通常、再照射はできません。部位が異なれば、何箇所でも放射線治療はできます。

放射線治療患者数の実績と今後の予測



放射線治療の4K

- ✚ 切らずに直す
- ✚ 形と機能が残る
- ✚ 体にやさしい
- ✚ 機械がハイテク

～がんの悩みを抱える患者様・ご家族様～



がん相談支援室を
ご利用ください

専任の看護師、医療ソーシャルワーカーが患者様のお話を伺い、問題解決のお手伝いをさせていただきます。
☎ 076-203-4581 (直通)